

2021年度 事業報告

一般社団法人 福山市医師会

I 公益目的実施事業

公益目的実施事業として地域医療推進事業及び看護師等養成事業をおおむね当初の公益目的支出計画通り実施した。

1 地域医療推進事業

- ・ 各種の機会を通じ、医の倫理の高揚を図ると共に、医療の質と信頼の根幹をなす医療安全の確保について一層の取り組みを進め、社会的信頼を高めるように努めて事業を行った。
- ・ 例年実施していた医学の振興並びに医師の生涯研修に関する事業はCOVID-19により開催数はコロナ禍以前より減少した。
実績：当会主催・共催・後援の研究会及び講演会 開催数 152 件（内、日医生涯教育講座 130 件）
- ・ 医師会速報を年 21 回、医師会広報を年 4 回、かがやきを年 3 回、いきいき健康メール（登録者数 2,186 名）を発行した。
- ・ 医師会ホームページを通して、市民及び会員向けに医師会活動や医療情報並びに疾病の流行の情報を提供。COVID-19 に関しても会員医療機関への情報提供をおこなった。
- ・ 福山市及び関係機関との連携を密にし、地域住民のための医療と福祉の充実向上に努め、とりわけ市行政に対する要望書を提出した。
- ・ 福山東、福山北、福山西の 3 署と「高齢者を犯罪や交通事故から守るための協力に関する協定」を締結しており、引き続き情報共有・連携を図った。
- ・ 広域災害医療情報システム（EMIS）入力訓練を 5 月と 11 月に実施した。また、8 月には前線停滞により警報が発令され河川氾濫や土砂災害の危険性が高まったことから、会員医療機関に対し実際に EMIS への入力をお願いした。

2 看護師等養成事業

- ・ 広島県准看護師試験及び看護師国家試験に於いて、3 課程で 117 名の合格者を輩出し地域の看護師、准看護師の充足を図った。
- ・ 看護師の地元定着促進のため、13 医療機関の参加のもとに医療機関説明会を開催した。
- ・ 2022 年度カリキュラム改正に向けて、第一看護学科と准看護科は、新しい教育課程を構築し、申請、承認された。
- ・ 受験生確保のため、Web オープンスクール（5 回）、近隣高校の進路指導担当教員との進路指導者会（14 校）、准看護師養成校訪問（3 校）、民間業者の高校ガイダンス参加（8 回）を行った。
- ・ COVID-19 において安全に学習を継続するために、前年度に引き続き、ICT 環境整備に着手し、オンライン授業が効率的・効果的にできるように検討した。
- ・ 高等教育における修学支援新制度の認定校となり、対象となる学生の授業料・入学金の免除または減額（授業料等減免）、及び給付型奨学金の支給運用を開始した。

II その他事業

1 健康支援センター（健診）

- ・健診センターオープンから4年が経過。COVID-19による感染防止対策を実施しながら健診事業を継続した。
- ・一般健診収入は前年対比約107.7%、約6,498万円の増収となった。
COVID-19による巡回健診の受診者数は減少傾向が続き、特に住民けんしんの申込が低調であったことから受診者数が集団健診において減少し前年度対比94.4%となった。
- ・施設内健診は受付時間を分散化する等の感染対策を講じ、受診予約人数の増加に取り組んだこと。加えて午後からの受診予定者数に応じた健診スタッフ数を調整し効率的な運用を実施したことから前年実績を上回ることとなった。
- ・巡回健診日程を見直し、効率的な健診計画を実施し、新規事業の獲得を目指し積極的に渉外活動を行った。
- ・2022年度からの受診者受け入れ人数の増加を目的に、午前中の受付時間延長による運用を検証した。

2 健康支援センター（検査）

- ・新規開業医療機関の支援を行うとともに、出検依頼を行い2医療機関検査のご利用をいただくこととなった。
- ・COVID-19の感染拡大防止の為、「出前勉強会」等の営業活動を前期より引続き自粛し、検査ご利用施設専用ホームページの活用、「医療情報 Letter」及び「コールセンターQ&A」等を作成配布し、情報提供及び出検向上に努めた。
- ・細菌システムを更新し、業務の安定化及び効率化を図った。
- ・COVID-19の更なる感染拡大に対応するため、広島県からの補助を受け新型コロナPCR検査の受託を開始し、早急な結果報告に努めた。
- ・BCPの一環として、他の検査センターと災害時連携に関する協議を実施した。

3 健康支援センター（病理）

- ・常勤病理医の表先生が福山医療センターへ異動とされたため、岡大からパート病理医を派遣頂く事となった。
- ・2021年度の更新予定としていなかった自動染色機、封入機が故障したため、今年度更新予定であった液状標本作製機を翌年度更新とし、予算を流用して更新した。
- ・病理連携加算の案内を引続き実施し、出検向上に努めた。

4 健康支援センター（システム）

- ・医師会の情報化事業を推進し看護学校フリーWi-Fiの設置、検査システム端末老朽化更新、PPAP対策用クラウドサーバー構築、Pマーク対応ログソフトの更新を行った。
- ・COVID-19における対応として、オンライン会議システム（ZOOM）のウェビナー活用、職域接種における新ワクチン予約システム（STORES）の導入支援などを行った。
- ・COVID-19関連情報サイト、セキュリティー対策サイトをイントラネットに新設し情報を会員へ発信した。
- ・市民の皆様への発信として運営している「いきいき健康メール」は2,186名（昨年度より153名増）の登録者数となった。
- ・ひろしま医療情報ネットワーク（通称：HMネット）については、カード発行に投入していた人員を終了し現状維持で継続を行った。HMカードの枚数は累計で12,927枚（昨年度より38枚増）となった。

5 健康支援センター（地域ケア）

- ・居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション・地域包括支援センター三吉町南の3事業において介護保険、医療保険に対応した業務を実施し、対前年比では居宅・訪看は利用者数の減少により減収、包括は人員増により増収となった。
- ・地域包括ケアシステムの推進と関連事業の効率化・実効性を高めることを目的として、2020年7月1日付にて「福山市医師会地域ケアセンター IROHA」（いろは）を設置しており、また、当会内に5つの「エリア」（神石・東・南・西・中央）を設定して活動した。
- ・各種研修会・講演会は COVID-19 の感染状況をふまえ、参集に加えてオンラインによる開催を取り入れ、地域医療・介護の質の向上を図った。各会の開催状況は、定期ケアカンファレンス（6・11・2月）、福山地区ケアマネジメント研究会（4・5・7・8・9・10・11月開催）、福山在宅どうしよう会（7・9・11・2・3月開催）となった。
- ・福山緩和ケア懇話会は COVID-19 感染拡大のため開催を見合わせた。

6 健康支援センター（夜間小児診療所）

- ・21名の出務医による当番制にて、準夜帯（19時から22時30分）の診療を年中無休で行っており、一人当たり年間18回前後の出務をお願いしている。（2022年4月現在）
- ・2021年10月より、診療終了時間を23時から22時30分へ変更した。
- ・2021年度の年間患者数は、COVID-19の感染拡大の影響により大きく減少した2020年度から回復傾向にあり、年間で4,672人（昨年度より929人増）、一日平均12.8人であった。

7 収益事業

- ・日医標準レセプトソフト導入支援事業は業務の他ベンダ移管を進めた。
2021年度には福山市行政区外のサポート施設94施設について他ベンダへの移管を進め、93施設が移管完了、1施設が他システム移管待ちとなり計画通り完了した。2022年度は会員施設125施設について同様に他ベンダへの移管を進め、事業の縮小を図る。
- ・立体駐車場を福山東警察署職員及び職員へ、東深津町の借地を看護学生へ月極駐車場として賃貸している。
- ・医療関係の各種講演会等の実施のため、医師会館を貸会場としているが、COVID-19感染防止の為、講演会が延期または中止となり、実績は1件のみであった。
- ・福山市から認知症初期集中支援推進事業の委託を受け、認知症の早期における症状の悪化の防止のための支援、認知症であるまたはその疑いのある方に対する総合的な支援を行った。
- ・福山市から在宅医療・介護連携推進事業の委託を受け、在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、会員医療機関及び関係機関との円滑な連携へ貢献を図った。

8 新型コロナウイルス対策事業

- ・PCR検体採取事業
福山市からの委託事業として2020年度から実施しており、2021年度は鼻咽頭と唾液による方法で延べ7,221人の採取を行い、出務医は延べ163人、出務職員は延べ1,189人であった。同居家族等の行政検査は実施しないという市の方針により、3月22日以降は中止している。
- ・宿泊療養施設
広島県からの委託事業として、担当理事を中心に22人の医師がオンコール及びトリアージを実施しており、2021年度はオンコール実施日数延べ738日、トリアージ実施日数延べ527日となっている。

- ・東部輸液センター
広島県からの委託事業として2022年1月28日から2月20日までの24日間開設した。
医師が延べ24人、看護師は1日2名で延べ48人が出務している。
期間中の利用実績はなかった。
- ・自宅療養者健康観察及び積極的疫学調査
福山市からの委託事業として、健康観察は2021年8月31日から、疫学調査は2022年1月25日から実施中である。
看護師、保健師の職員が健康観察へは延べ112人、疫学調査へは延べ234人が従事している。
- ・ワクチン接種業務
2021年度は4月から8月の期間中に医療従事者優先接種（1・2回）、8月から10月に商工会議所の職域接種、また2022年1月から3月に3回目の医療従事者優先接種を実施しており、接種人数14,924人、出務協力医134人、看護師スタッフ431人、事務スタッフ507人という状況である。

Ⅲ 法人会計

- ・福山市が設置し、4医師会が指定管理者となる夜間成人診療所の運営に協力した。
- ・A会員の新規入会は2名であった。